

熊本地震 写真で見る復興への道のり

県内各地の被災状況



実践で見た 災害支援 —連携のポイント—



地震の被害を受けた直後の熊本城天守閣 = 2016年4月16日



阿蘇大橋崩落 = 2016年4月16日



益城町内で地表に出現した断層 = 2016年4月17日



多くの建物が倒壊した西原村の布田地区 = 2016年4月20日

居場所を求めて避難



倒壊した住宅のがれきりで埋め尽くされた道路=2016年4月20日、益城町



益城町保健福祉センターで熊日朝刊を読む避難者=2016年4月15日午前5時ごろ



本震発生後、避難者が殺到した西山中。校庭は自家用車で埋まり、車中泊で一夜を明かす人も多かった=2016年4月16日夜、熊本市中央区



校舎内が開放され、続々と入っていく避難者たち（熊本市内の五福小）=2016年4月16日午前3時45分過ぎ

それぞれの避難所にて



車いす利用者の避難を受け入れている熊本学園大=2016年5月



ラジオ体操を提案し毎日実施することに=2016年4月20日



益城町内に設置したペット同行避難者用のテント村=2016年5月



テント村内に設置されたペット預かり所=2016年6月



避難所となっている城東小（熊本市）の体育館。段ボール製ベッドが設置された=2016年4月24日

県内外から多くの支援



県内外から大勢のボランティアが詰めかけた熊本市花畑広場の受付会場
=2016年4月22日



避難所となっている西原村の河原小体育館で行われた炊き出しの様子=2016年4月23日



花畑広場で受け付けをした後、説明を受けるボランティアたち=2016年4月22日



給水所で持参したポリタンクに水をためる住民
=2016年4月16日

支援を調整、そして連携へ



避難所でニーズを聞き取るNGOスタッフ=2016年4月



各地から「うまかな・よかなスタジアム」に集まった支援物資。ボランティアらがトラックへの積み込み作業に追われていた=2016年4月22日



地震で破損した屋根瓦を撤去し、ブルーシートをかぶせるボランティア
=2016年4月25日



被災者支援で連携協定を結んだKVOAD（左2人）、蒲島都夫知事（中央）、JVOAD（右2人）=2017年3月

仮設団地、仮設住宅での暮らし



熊本県内最大規模の516戸が並ぶ応急仮設住宅「テクノ仮設団地」 = 2016年10月



急ピッチで建設が進む応急仮設住宅（西原村） = 2016年6月



みなし仮設住宅住民との交流会「つながるエリア」 = 2017年9月

経験と知見を共有



JVOAD開催「第2回災害時の連携を考える全国フォーラム」のオープニングパネルディスカッションで熊本地震の状況を発表 = 2017年5月



県内団体の活動充実をバックアップする目的で開いた「復興経験と知見をつなげる活動研修」 = 2017年11月



JPF助成事業のモニタリングの様子。活動の相談に応じるなど事業終了まで伴走した = 2017年7月



県域仮設団地の自治会長らが、東北の災害公営住宅を視察した「先災地視察研修ツアー」 = 2017年11月

仮の住まいから新たな生活へ



空室が目立つようになった仮設団地
=2019年7月



テクノ仮設団地で災害公営住宅へ転居する被災者を手伝うボランティアら
=2020年3月



テクノ仮設団地のイオン閉店に伴い、感謝状贈呈式の後、店舗の前で記念撮影する従業員や住民ら
=2020年6月

進む復興 災害公営住宅と集落再生



《マンションタイプ》災害公営住宅「南熊本第二団地」の落成式でテープカットする関係者（熊本市）
=2019年12月



《アパートタイプ》熊本地震の被災者向けの災害公営住宅「秋津第二団地」（熊本市東区）
=2020年3月



《戸建タイプ》西原村河原地区に完成した災害公営住宅。隣の家とは芝生や小道でつながっている
=2018年6月



《集落再生》熊本地震から5年を経て、復旧工事が完了した西原村の大切畑地区
=2021年4月

さらなる災害 新型コロナウイルス、熊本豪雨



新型コロナウイルス感染拡大に対応するため、益城町が実施した風水害時の避難所訓練。職員同士が間隔を空けて対応を検証した
=2020年5月



令和2年熊本豪雨。球磨川の氾濫で甚大な被害を受けた球磨村の渡地区。奥は人吉市方面
=2020年7月



豪雨支援のために熊本市から県民を限定してバスで被災地入りしたボランティアら
=2020年7月



豪雨で被災した民家で流木を切ったり、災害ごみを運び出したりするボランティアら
=2020年7月

熊本地震から学んだ知見を生かす



熊本豪雨被災時、感染症拡大防止に配慮した避難所の様子
=2020年7月



熊本地震でも活躍した「くまもと友救の会」が、家具などの災害ごみをトラックに積み込む様子
=2020年7月



オンラインも併用して現場と情報を交換する「火の国会議」
=2020年7月

未来への道すじ



益城町木山仮設団地の追悼行事で、前震発生と同時刻の午後9時26分に黙とうする参加者たち＝2022年4月



益城町復興まちづくりセンターの完成を祝ってテープカットする関係者ら＝2020年3月



益城町復興まちづくりセンターで熊本地震の被害や復興の様子を伝える町民＝2020年4月



熊日記者から熊本地震の被災状況などの説明を受けるバスツアーの参加者ら。奥は崩壊した阿蘇大橋＝2022年5月



復旧が完了し、約5年ぶりに一般公開された熊本城天守閣＝2021年6月